

泌尿器科専攻医カリキュラム

1. 目標

独立した泌尿器科医として診療が行える。専門医資格に値する知識、技術を身につける。

2. 研修スケジュール

年度	
1年度	尿路内視鏡及び泌尿器検査の習得、手術の修練
2年度	手術の修練
3年度	独立診療
終了後の予定	当院常勤医、大学帰局、関連他病院への転勤等

3. 診療科の特徴

小児泌尿器、移植を除くすべての泌尿器疾患を扱っており、愛知県有数の症例数を誇る。特に泌尿器小切開手術では全国でトップレベルとの評価をいただいております、全国から見学、指導の依頼が絶えない。

4. 研修体制

1) 教育病院の指定の有無

日本泌尿器科学会教育指定病院

2) 研修カリキュラム

名古屋大学泌尿器科卒後研修プログラムに準拠

3) 取得可能な認定医および取得可能な時期

日本泌尿器科学会認定専門医、3年間の後期研修終了後の秋に専門医試験あり。

4) スタッフ体制

部長1名、副部長1名、常勤医2名、専攻医1名

5) 症例検討会、抄読会等のスケジュール

(1) 症例検討会： 毎週1回水曜日 8時～9時

(2) 抄読会： 毎月1回月曜日 17時～18時

6) 主な参加学会

日本泌尿器科学会、日本がん治療学会、日本EE学会、日本ミニマム創内視鏡外科学会など

7) 定期的に参加する研究会等

(1) 多数あり

5. 主な経験目標

(1) 受持患者の疾患及び参加する手術などは年度に応じて考慮される。

(別表1)

手術種類 専攻医	A	B	C
1 年 度	術 者	術 者または助手	助手
2 年 度	術 者	術 者	術 者または助手
3 年 度	術 者	術 者	術 者または助手

(別表2)

A類 精巣摘出術、精管切断術、膀胱高位切開術、尿路内視鏡検査、尿管ステント挿入抜去、膀胱瘻造設術、経皮的腎瘻造設術、精巣上体摘出術、陰嚢水腫根治手術、膀胱碎石術、TUR-Bt ESWL、内尿道切開術

B類 尿管皮膚瘻術、膀胱部分切除術、腎摘徐術、TUR-P、腎尿管全摘術 TVT 手術、経尿道的尿管結石徐去術

C類 膀胱全摘、回腸導管造設術、前立腺全摘徐術、腎部分切除術 経皮的腎尿管結石除去術、腎盂形成術 、TVM 手術

3) 研究会・学会発表・論文発表

(1) 学会発表 以下の学会のいずれかに発表を行う。

日本泌尿器科学会東海地方会2回／年以上、

日本泌尿器科学会中部連合総会学会 1 回／3 年以上

日本泌尿器科学会総会 1 回／3 年以上

その他に日本がん治療学会、日本 EE 学会、日本ミニマム創内視鏡外科学会などに適宜発表を行う

(3) 論文発表 以下の学会誌のいずれかに1編以上の掲載を行う。

日本泌尿器科学会雑誌、International Journal of Urology、泌尿器外科、泌尿器科紀要など